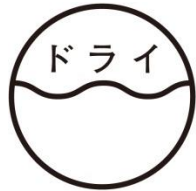


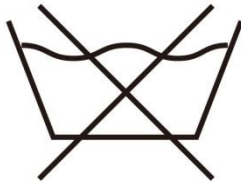
第1問 洗濯

洗濯する前に洗濯物を仕分けましょう。
ドライクリーニングに出す物と家庭で洗える物を分けます。
次の表示のうち、洗濯機で洗える物はどれでしょうか。

選択肢1



選択肢2



選択肢3



正解

選択肢3

解説

選択肢1はドライクリーニングができます。
ドライクリーニングでなければならないという意味ではありません。

選択肢2は水洗いはできません。

選択肢3は洗濯機で水洗いできます。数字は洗濯時の上限の水温です。「ネット使用」と書いてある場合は、洗濯ネットに入れて洗ってください。



その他にこれはやさしい洗い方で、水洗いできるという意味です。手洗いするほかに、洗濯機の手洗いコースなどを使ってもよいでしょう。

数字は洗濯時の上限の水温です。「中性」と書いてある場合は、洗濯用(衣料用)中性洗剤を使って洗ってください。

第2問 洗濯

アイロンをかけます。

次の表示の場合、アイロンの温度はどれくらいがよいでしょうか。

選択肢1 180度

選択肢2 140度

選択肢3 80度

正解

選択肢3

解説

次の表示はアイロンがけの温度を示しています。



アイロンの温度は 210 度が限度で、高い温度(180 度～210 度まで)でかけましょう



アイロンの温度は 160 度が限度で、中程度の温度(140 度～160 度まで)でかけましょう



アイロンの温度は 120 度が限度で、低い温度(80 度～120 度まで)でかけましょう



アイロンがけはできません



アイロンがけするときにはあて布をしましょう。

第3問 洗濯

洗濯機で洗濯する場合に、気をつけた方がいいこととして、間違っているのはどれですか。

選択肢1	洗濯物のポケットの中に物が入っていないか確認する
選択肢2	なるべくたくさんの洗濯物をいれるようにする
選択肢3	特に濃い色の服がないか確認する

正解

選択肢2

解説

洗濯機で洗う前に次のことを確認しましょう。

- 1 家庭で洗濯できる物か洗濯表示を確認する。
- 2 洗濯機で取れないひどい汚れがないか確認する。
ひどい汚れは事前に手洗いしてから、洗濯機に入れましょう。
- 3 ポケットに物が入っていないか確認する。
入っていた物が水にぬれてしまったり、ポケットティッシュが入っていると、他の洗濯物にこまかな紙屑がついてしまいます。
- 3 色がほかの洗濯物に移りやすいかどうかを確認する。
特に濃い色の服やジーンズの中には色落ちしやすい物もあります。
白いシャツなどを一緒に洗うと、色移りするときがあるので、個別に洗いましょう。

第4問 洗濯

洗濯機で汚れをきちんと洗うために、1回に入れる洗濯物の量として、適当な量はどれでしょうか。

選択肢1 洗濯機の規定量いっぱいまで

選択肢2 洗濯機の規定量の8割まで

選択肢3 洗濯機の規定量の6割まで

正解

選択肢2

解説

洗濯機にぎゅうぎゅうに詰め込んで洗うと、水や洗剤が行きわたらないことがあります。

汚れをきちんと落とすためにゆとりをもった洗濯物の量にすることが大切です。

1回に洗う洗濯物の量は洗濯機の規定量の8割までにします。

10キロと書いてある場合は、洗濯物の量を8キロまでにします。

第5問 洗濯

洗濯機に入れる洗剤の量として適当なのはどれでしょうか。

- | | |
|------|------------------------------|
| 選択肢1 | 洗剤をたくさん入れた方がよく落ちるので、たくさん入れる |
| 選択肢2 | 目分量で入れる |
| 選択肢3 | 洗濯物の量に応じて、洗剤に記載されている量を計って入れる |



正 解

選択肢3

解 説

洗剤には、洗濯物の量や、水の量に対して、入れる洗剤の量が表示されています。

洗剤を多く入れても、汚れを洗う力はあまり変わりません。むしろすすぎにかかる時間や水の量が増えます。

洗剤が少なすぎると、よごれが残ることがあります。

洗濯物の量やよごれ具合に応じて、量を調整しましょう。

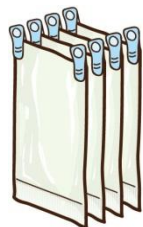
また、粉末洗剤は水より先に入れると、水にとけずに、そのまま衣類にくっついてしまう場合があります。しっかり水に溶かして使いましょう。

第6問 洗濯

タオルの干し方として、よく干せるのはどれでしょうか。

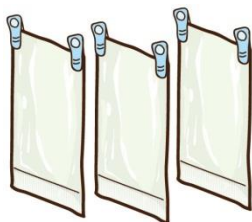
選択肢1

(くっつけて干す)



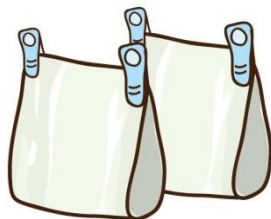
選択肢2

(空間を開けて干す)



選択肢3

(二つ折りにして干す)



正 解

選択肢2

解 説

洗濯物は1枚ずつ広げて干しましょう。

洗濯物同士が重ならないように空間を開け、風が通るように干します。

洗濯物がしわにならないように、しわを伸ばして干すことも大切です。

第7問 洗濯

飲食店で食事中に油はねが飛んで、シャツに付いてしまいました。
シミにしないように応急処置の方法として正しいのはどれでしょうか。

選択肢1 出されていたおしぼりを使って拭く

選択肢2 ハンカチを水で濡らして拭く

選択肢3 乾いたティッシュでつまむ

正解

選択肢3

解説

シミといっても付いた物によって、応急処置の方法は違います。

水溶性のジュースや醤油などの場合は、水で濡らしたハンカチなどでつまんで汚れを取った後、乾いたハンカチやティッシュで乾かします。

油性の場合は、水でシミを落とすことはできません。乾いたティッシュで軽くつまみ、油分をできるだけ移し取ります。

飲食店で出てくるおしぼりには殺菌のために漂白剤が含まれている場合があり、新たなシミを作ってしまう可能性があるため使わないようにしましょう。

応急処置をした場合でも、家に戻ったらしっかりしみ抜きすることを忘れないでください。

第8問 洗濯

衣服を着たときに、静電気でバチッとすることがあります。
静電気を防ぐために洗濯のときに入れるとよいのはどれでしょうか。

選択肢1	漂白剤
選択肢2	柔軟剤
選択肢3	洗濯のり

正 解

選択肢2

解 説

漂白剤は、黄ばみなどの汚れを漂白し、白い服をより白くしたい場合や、食べこぼしのシミやえり・そで口の汚れど部分的な汚れを落としたい場合に使います。

柔軟剤は、衣類をふんわりやわらかく仕上げるとともに、静電気を防止し、衣類のまとわりつきを抑えます。

洗濯のりはシャツなどをぱりっと仕上げるために使います。アイロンのときに使うスプレータイプの物もあります。

第9問 洗濯

クリーニングから帰ってきた衣類にかけてあるビニールの袋はどうするのがよいでしょうか。

選択肢1	ビニール袋に入れたまま収納する
選択肢2	ビニールをとって収納する
選択肢3	ビニールを少し破って、通気をよくして収納する

正解

選択肢2

解説

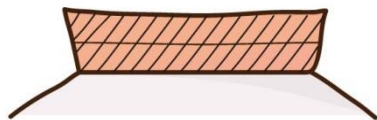
ビニールをかけたままにすると湿気がたまりやすくなるので、ビニールは外し、風通しを良くして保存しましょう。

第10問 洗濯

ワイシャツをにアイロンをかけます。
どの部分から一番最初にかけますか？

選択肢1

えり



選択肢2

みごろ



選択肢3

そで



正 解

選択肢1

解 説

ワイシャツは次の順番でアイロンをかけましょう。

えり → ヨーク → カフス → そで → みごろ

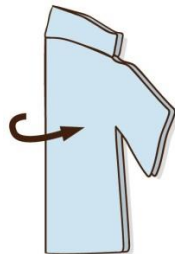


えりやカフスなど固い部分から先にかかけましょう。

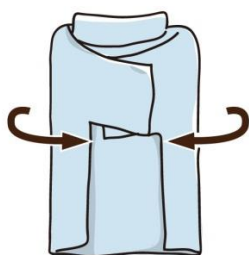
第 11 問 洗濯

ポロシャツのたたみ方として正しいのはどれでしょう。

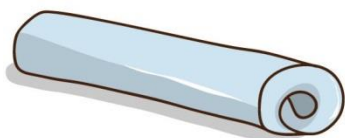
選択肢 1



選択肢 2



選択肢 3



正 解

選択肢 2

解 説

ポロシャツは襟をつぶさないようにしてたたみましょう。
襟が上になるように折ります。



第1問 洗濯

ドライクリーニングはどのように洗う方法でしょうか

選択肢1	水と洗剤で洗う
選択肢2	揮発性の有機溶剤で洗う
選択肢3	乾いたまま、風を吹きかける

正解

選択肢2

解説

ドライクリーニングは業者が専門の施設で、揮発性の有機溶剤で洗います。服が洗濯によって縮んだり、型崩れしたりといった風合いの変化が少なく、油汚れがよく落ちます。

汗や飲料など水溶性の汚れはドライクリーニングでは落ちないので、クリーニング店にお願いするときには、特別な処理をお願いしましょう。

第2問 洗濯

縦型洗濯機で洗濯したズボンにいとくずがたくさんついていました。糸くずがつかないようにする方法としてまちがっているのはどれでしょうか。



- | | |
|-------|------------------|
| 選択肢 1 | 洗濯ものの量を減らす |
| 選択肢 2 | 糸くずフィルターの中のごみをとる |
| 選択肢 3 | 洗濯ネットに入れて洗う |

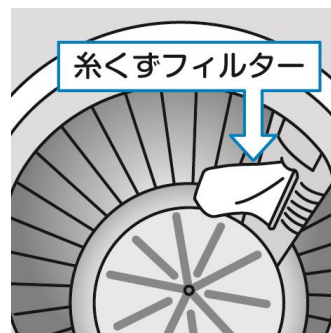
正 解

選択肢 1

解 説

縦型洗濯機には、糸くずをとるために「糸くずフィルター」がついています。糸くずフィルターの中のごみはこまめに取り除く必要があります。

また、洗濯ネットに入れたり、白いタオル等と黒いものを一緒に洗わないなどの工夫により糸くずがつくのを防ぐことができます。



第3問 洗濯

洗濯槽のカビを防止するために、やってはいけないことはなんですか。

選択肢1	汚れた洗濯ものを洗濯機の中に入れてためておく
選択肢2	脱水後、洗濯ものをすぐに取り出す
選択肢3	洗濯機のフタを開けておく

正解

選択肢1

解説

汚れた衣服を洗濯槽の中にためておくと、湿気がこもってカビが生えやすくなるので、専用のカゴに入れて、早めに洗うようにしましょう。

また、洗った洗濯ものを脱水後に放置しておくと、雑菌やカビが繁殖したり、嫌なにおいやしわもついてしまうので、すぐに干しましょう。

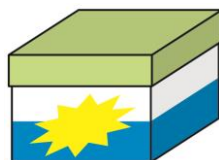
湿気をのがすために、洗濯機のフタは開けておきましょう。

第4問 洗濯

洗浄力の高い洗剤はどちらでしょうか。

選択肢 1

弱アルカリ性洗剤



選択肢 2

中性洗剤



選択肢 3

どちらも変わらない

正 解

選択肢 1

解 説

弱アルカリ性洗剤は洗浄力が強く、普段着やシーツなど幅広い衣類を洗うのに適しています。酵素や漂白剤入り・柔軟剤入りなどいろいろな種類があります。

汚れがひどい衣類には「酵素入り洗剤」、時間短縮や節水にはすすぎが1回で済む「コンパクト洗剤」など、使用用途に合わせて洗剤を選びましょう。

中性洗剤は衣類を傷めにくく、ウールや絹などの大切なおしゃれ着を洗うときに使います。

第5問 洗濯

柔軟剤の使い方として正しいのはどれでしょうか。

選択肢1	洗剤と柔軟剤を一緒に入れて洗う
選択肢2	洗剤で洗ってから、最後のすすぎのときに柔軟剤を入れる
選択肢3	柔軟剤に浸しておいてから、洗剤で洗う

正 解

選択肢2

解 説

柔軟剤は、衣類を柔らかく仕上げ静電気を防止するなどの効果があります。

柔軟剤は洗剤で洗ったあと、最後のすすぎのときにいれるようにしましょう。洗濯機には柔軟剤投入口がついているものがあります。専用の入り口にいれておくと、最後のすすぎのときに水に投入されます。

柔軟剤と洗剤を一緒に入れて洗うと、お互いの効果がなくなってしまうので注意しましょう。

第6問 洗濯

洗濯する前にしておくこととして、間違ったことをしているものはどれですか？

選択肢1	汚れがひどい靴下 — 表面だけごみを払う
選択肢2	初めて洗う色の濃いポロシャツ — 白い布に水で薄めた洗剤をつけ、目立たない部分をこすって、布に色が移るか確認する
選択肢3	おしゃれ着 — 洗濯表示を見て、手洗いするものは洗濯機には入れない

正 解

選択肢1

解 説

よごれがひどい洗濯ものは、よごれた部分をもみ洗いしたり、部分洗い洗剤を付けてから、洗濯機で洗うようにしましょう。

土でよごれた靴下は、泥や土を払ってから、固形石鹼などを付けてブラシでこするか、手でもみ洗いします。そのあとに、他の洗濯ものと一緒に洗濯機で洗います。

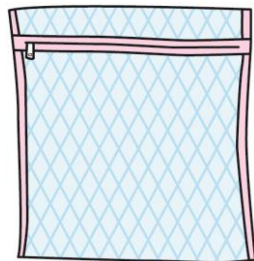
よごれはなるべく早く落とすようにしましょう。時間が経つと衣類が黄ばんでしまうこともあります。

初めて洗う青や赤の濃い色の洗濯ものは色が落ちる可能性がたかく、白いものと一緒に洗濯機で洗うと、白いものが染まってしまう。洗う前に色落ちしないか確認しましょう。

洗濯表示をみて、ドライクリーニングするもの、手洗いするもの、洗濯機で洗うものを最初に確認するようにしましょう。

第7問 洗濯

洗濯ネットに入れて洗濯した方がよいものとして、適当でないのはどれでしょうか。



選択肢 1	ビーズの飾りのついている服
選択肢 2	ストッキングやタイツ
選択肢 3	生地が厚いトレーナー

正 解

選択肢3

解 説

洗濯ネットを使うと洗濯時の摩擦から衣類を守ることができます。摩擦に弱いものや、型崩れしやすいものは洗濯ネットに入れて洗いましょう。

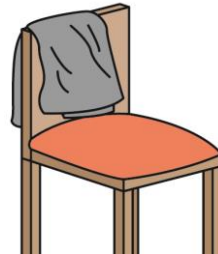
- ・ニットなどの型崩れしやすいもの
- ・ビーズなどの飾りのついた服
- ・ほかの衣類と絡まりやすい長いヒモやリボンがついている服
- ・生地が薄いストッキングやブラウス
- ・糸くずが付くと目立つ濃い色の服

第8問 洗濯

スーツの毎日のお手入れとして正しいのはどれでしょうか。

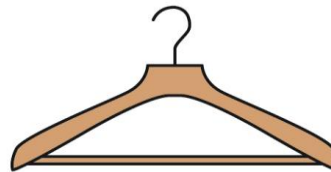
選択肢 1

脱いだままソファーや椅子にかけておく



選択肢 2

太いハンガーにかけてつるす



選択肢 3

下から上にブラシかけをする



正 解

選択肢2

解 説

まずは、ハンガーにかけましょう。

スーツの上着は肩の部分に幅があるハンガーを使います。針金のハンガーでは肩の部分が型崩れしてしまいます。

また、スーツは一日の外出でかなりのほこりやよごれがついています。毎日、クリーニングに出すことはできないので、日常のお手入れとしてブラシかけをしましょう。ブラシは上から下(えり→肩→袖口→すそ)に、布目によって毛羽立たないようにかけましょう。



第9問 洗濯

サラダにかけようとしてドレッシングがあやまってシャツの手首についてしまいました。どのようにしみ抜きするとよいでしょうか。

選択肢1	水で濡らしたハンカチで拭く
選択肢2	下に当て布をしてから、洗剤を含ませた歯ブラシでたたく
選択肢3	洗剤をつけてこすり洗いをする

正解

選択肢2

解説

しみはまず、水溶性の汚れなのか油性の汚れなのかを確認してから行いましょう。しょうゆやお茶などの水溶性のしみは、水をつけた歯ブラシでたたきだします。ドレッシングやカレーなどの油性の汚れは洗剤をつけた歯ブラシでたたきだします。汚れは時間が経つと繊維の奥にしみこんで落ちにくくなるので、なるべくはやく処理しましょう。またこすらずにたたいて当て布に移しとることが大切です。

第10問 洗濯

ワイシャツを洗濯機で洗うときに気を付けることとして間違っているはどれでしょうか

選択肢1	えりや袖口は特に汚れがひどいので、部分洗い用洗剤をつける
選択肢2	胸ポケットを裏返しにして、糸くずをかき出す
選択肢3	裏返しにして洗う

正 解

選択肢3

解 説

襟やそで口、脇は汗や皮脂で汚れやすいところです。部分洗い用洗剤をつけるなど前処理をしましょう。また、しわにならないように、畳んで洗濯ネットに入れたり、しわを防ぐ柔軟剤を使ってもよいでしょう。ポケットにたまった糸くずなどは、脱水直後のぬれた状態の方がとれやすいので、裏返しにしてきれいに掻き出します。

第11問 洗濯

ワイシャツの乾かし方として正しいのはどれでしょうか。

選択肢1	しわしわのまま、ハンガーにかける
選択肢2	両肩を持って2～3回横に引っばって、大きなしわをのばし、ハンガーにかけてから、前立てやそでを引っ張ってしわを伸ばす
選択肢3	洗濯機の脱水後、そのままほおっておき、次の洗濯ものがたまったら干す

正解

選択肢2

解説

洗濯機の脱水後、すぐに取り出して干しましょう。

まずは両肩あたりを持って、2～3回横に引っ張って大きなしわをとります。パンツやスカート、タオルなども同じです。

襟のしわを伸ばしてからハンガーにかけて、前立てやそでのしわを立てに引っばります。ポケットも忘れずに。

第12問 洗濯

洗濯表示に「アイロンをかけるときには当て布が必要」というマークがついていました。あて布として適切なのはどれでしょうか。



選択肢1 綿のハンカチ

選択肢2 薄手のタオル

選択肢3 ニット

正 解

選択肢1

解 説

当て布は、ウールや化学繊維などの生地傷みやテカリを防ぐために、アイロンと服の間に置いて使うものです。専用当て布ではなくても、手ぬぐいや大きめの綿のハンカチを当て布としましょう。タオルやニットなどのふんわりした生地は適していません。

第13問 洗濯

ウールのニットにアイロンをかけて、形を整えます。
正しいのはどれでしょうか。

選択肢1

当て布をして、スチームアイロンで
浮かしながらかける



選択肢2

当て布をして、スチームアイロンで
しっかり押し付ける



選択肢3

ドライアイロンで、しっかり押し付ける



正 解

選択肢1

解 説

ドライアイロンは、綿などの衣類のしわを取りたいときに使用します。

スチームアイロンは、セーターやウールの衣類をふんわり仕上げたいときに使用します。

ニットは生地傷みとテカリを防ぐために、当て布をして、浮かし気味に表面をなでるようにかけるとふっくら仕上がります。

第14問 洗濯

靴下の干し方として正しいのはどれでしょうか。

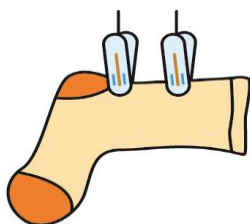
選択肢1



選択肢2



選択肢3



正 解

選択肢1

解 説

靴下はつまさきが下で、足首の部分を上にして干しましょう。ゴムの部分に水分がたまると靴下が早く劣化してしまいます。